

健康増進推進事業

Q 講座によって参加者が少ないものがあるが、その状況は。

A **保健センター** 所長 市民の健康づくりには、健康維持に対する動機づけをどのようにしていくかが中心になると考えている。

そのため、1人でも多くの人に健康意識をもってもらい、自分にあつた無理のないやり方を学べる事業を今後も行っていきたいと考えている。

また、健康づくりを通して、参加者の地域コミュニティづくりにも発展させていきたいと考えている。



特別巡回ラジオ体操 (10/5)

コンピュータ教育推進

Q 各小中学校でコンピュータを更新したが、その成果は。

A **教育部** 参事 19年度は、小学校6校と中学校5校で更新を行った。

現在、小学校に20台、中学校に40台設置されているため、中学校



パソコンを使った授業

では1人1台、小学校では2人で1台使用し、情報技術を学んでいる。

情報教育については、学校教育の中で的重要性を感じている。今後もモラル等についても指導していきたい。

公民館費

Q 19年度から公民館の事務事業を市長部局へ補助執行したが、状況は。

A **市民協働推進課** 主席 幹 現 在公民館は、地域づくりの拠点としての役割を推進している。

それに伴い、自治会や青少年健全育成推進協議会、地域福祉団体企業等多様な主体と連携し、今まで公民館を利用したことがない人たちが参加しやすい事業を行って

きた。その結果、19年度の利用者は約40万8000人で、前年度より約3万3000人の増加となった。

市の財政の健全化判断比率が公表されました

(単位:%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
鶴ヶ島市	—	—	12.9	67.5
早期健全化基準	13.06	18.06	25.0	350.0
財政再建基準	20.00	40.00	35.0	

※黒字の場合は、一で示しています。

- 実質赤字比率・・・一般会計等の実質赤字が標準財政規模に占める割合
- 連結実質赤字比率・・・市のすべての会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合
- 実質公債費比率・・・市のすべての会計及び一部事務組合等が負担する実質的な公債費が標準財政規模に占める割合
- 将来負担比率・・・公債費や債務負担行為、職員の退職手当など、市のすべての会計や一部事務組合、土地開発公社に係る将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合

※標準財政規模とは、地方公共団体が自由に使える財源の標準的な規模を表します。

特別会計決算

◇国民健康保険

歳入 57億1706万円
歳出 55億2287万円

◇老人保健

歳入 27億6758万円
歳出 26億9915万円

◇介護保険

歳入 19億8083万円
歳出 19億 833万円

◇一本松土地区画整理事業

歳入 2億8372万円
歳出 2億6569万円

◇若葉駅西口土地区画整理事業

歳入 2億6686万円
歳出 2億5781万円

6割という状況であった。おおむね計画に見込んだ執行率である。

一本松土地区画整理事業

Q 想定換地設計等準備業務について。

A **一本松土地区画整理事務所** 所長 一本松地区については、基礎となる図面や計算書などの資料の大半が、平成4年の事業開始時に紙ベースで作成されている。

そのため、事業見直しに伴う課題等の整理、既存資料のデジタル化を行った。データのデジタル化により、今後の事業計画変更に伴う図面や計算書の修正、変更が容易になり、今後の検討をスムーズに進めることが可能となった。

若葉駅西口土地区画整理事業

Q 仮換地変更業務について。

A **若葉駅西口土地区画整理事務所** 所長 仮換地指定した後で分筆した場合、データを整理する必要があるため行ったものである。

Q 年度末での進捗状況は。

A **若葉駅西口土地区画整理事務所** 所長 仮換地指定ペースで74・1割、建物移転率で31・3割、道路の整備率で40・7割、汚水管の整備率で49・3割、事業費ペースで58割となっている。整備が完成していないために、大雨時に水たまりの発生が見られた。